

2012-B					
拠出金・基金の名称:		アジア大洋州地域青少年交流事業拠出金(JENESYS2.0)			
種 別		イヤーマーク ノン・イヤーマーク			
拠出先の国際機関名: 南太平洋大学(USP)					
【所管官庁担当局課・室名】: 外務省アジア大洋州局大洋州課					
【当該任意拠出金の目的・用途等】 2007年から5年間実施したJENESYSプロジェクトを後継する取り組みとして、太平洋島嶼国の青少年を我が国に招聘し、都内視察、地方でのホームステイ、学校交流、歴史・産業施設視察等を通じて日本への関心・理解を深める他、我が国経済の復興・再生に寄与することを目的とする。					
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千)	レ ー ト	ODA率(%)
平成24年度	266,678	-	-	円建て	100
平成23年度	259,902	-	-	円建て	100
平成22年度	-	-	-	-	-
【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】 太平洋島嶼国は、我が国との歴史的経緯もあり従来から一般的に親日的であるが、我が国から遠隔地に位置していることもあり、特に青少年においては訪日経験者が少ない。このような状況下、本件プロジェクトを通じて島嶼国の青少年を我が国に招聘し、我が国の政治・経済・社会の諸事情を直接見聞させ、また、我が国青少年と直接的に交流することで、参加者は、クールジャパンを含めた我が国の強みや魅力等の日本ブランド及び日本的な価値に対する関心と理解を飛躍的に高めることができたと同様に肯定的な反応を示している。このことは本件プロジェクトの成果として高く評価される。太平洋島嶼国の次世代を担う参加者が今回の訪日を通じて得た経験と知見は、同諸国における将来の国作りの一助とされ得ることも期待されており、その点でも本件招聘プログラムの意義は大きい。更に、太平洋島嶼国の各国首脳らは、我が国による同諸国との人物交流促進のイニシアティブに対し、例えば2012年第6回太平洋・島サミットの機会等機会ある毎に、歓迎と支持を表明してきており、本件拠出金による人物交流促進プログラム実施の意義と成果は極めて高く評価されている。					